

園芸功労賞 歴代受賞者

年度	受賞者	テーマ
昭和31年	野崎綱次郎(名古屋市端郷町)	そ菜の品種改良の功労
昭和32年	麻久保共同防除組合(長野県篠ノ井町)	共同防除の創設者としての功労
昭和33年	道後第一共選組合(愛媛県松山市)	第10回全国果実共進会における温州ミカンの出品
昭和34年	宇和青果農業共同組合玉津支所(愛媛県吉田町) 富山県花弁球根農業共同組合(富山県砺波町)	第11回全国果実共進会における温州ミカンの出品 輸出球根の生産に対する功労
昭和35年	桃沢匡勝(長野県飯島町)	伊那地方のナシの計画生産と計画出荷による経営指導の功労
昭和36年	清水基夫(日本花き園芸組合)	日本花き園芸組合連合会の育成に関する功労
昭和37年	高橋郁郎(日本園芸農業共同組合連合会)	カンキツの生産業発達に対する永年の功労
昭和38年	及川伍三治(養賢堂)	出版を通じ園芸発展のためつくした永年の功労
昭和39年		
昭和40年	桐野忠兵衛(愛媛県青果販売農業共同組合連合会)	カンキツの流通改善に対する功労
昭和41年	滝井治三郎(タキイ種苗株式会社) 坂田武雄(坂田種苗株式会社)	そ菜の育種に関する功労 花きの育種に関する功労
昭和42年	橋本昌幸(岩手県紫波町)	黄花コスモスの朱赤色品種サンセットの育成に関する功労
昭和43年	小川誠一郎(誠文堂新光社) 齋江一太郎(カゴメ株式会社)	出版を通じ園芸の普及ならびに発展につくした永年の功労 トマト加工産業に対する永年の功労
昭和44年	中村昌六(太平洋興業株式会社)	ビニルフィルムの農業利用の開発普及に対する功労
昭和45年		
昭和46年		
昭和47年		
昭和48年	渋川伝次郎(岩手県盛岡市) 渡辺頼二(渡辺採種場)	リンゴ産業に対する永年の功労 そ菜の品種改良に対する永年の功労
昭和49年	土屋長男(山梨県勝沼町)	ブドウ栽培における永年の功労
昭和50年		
昭和51年		
昭和52年		
昭和53年	秋久 勲(鳥取県果実農協連)	ナシ産業発展に対する永年の功労
昭和54年		
昭和55年	小井戸直四郎(小井戸微笑園)	キク7~9月咲き品種の育成
昭和56年	大津祐男(神奈川県湯河原町)	カンキツの高接更新技術の開発普及
昭和57年		
昭和58年		
昭和59年	三好勲男(株式会社ミヨシ)	組織培養による無病苗生産の実用化
昭和60年		
昭和61年		
昭和62年		
昭和63年		
平成元年	鈴木省三(京成バラ園芸株式会社)	バラの育種
平成2年		
平成3年		
平成4年	花本美雄(鳥取県果実農協連) 黒川 浩(千葉県館山市)	二十世紀ナシの輸出促進に対する功労 ストックの育種と採種に対する功労
平成5年		
平成6年		
平成7年		
平成8年		
平成9年		
平成10年		
平成11年		
平成12年		
平成13年	岩佐吉純(株式会社サカタのタネ顧問)	花き産業の発展に対する永年の功労
平成14年		
平成15年		
平成16年	隔年交互結実技術開発グループ 宮田 明義(山口県田布施農林事務所橘支所・前山口県大島柑きつ試験場)・脇 義富(愛媛県立果樹試験場岩城分場)・新堂 高広(佐賀県果樹試験場常緑果樹研究室)	ウンシュウミカンにおける隔年交互結実技術の開発・普及
平成17年	菅原 真治(愛知県農業総合試験場 園芸研究部)	単為結果性トマト品種の育成
平成18年	庄子 孝一(社団法人みやぎ原種苗センター)	東北地域におけるイチゴの安定生産技術確立とイチゴ生産の振興への貢献
平成19年	先原 孝一(統括部 系統品種管理グループ)・八尾 敦・加屋隆士・島中 誠(タキイ種苗(株)研究農場)	完熟トマト「桃太郎」系統品種の育種と普及
平成20年		
平成21年	カンキツマルチ・点滴かん水同時施肥システム開発グループ(森永邦久・吉川弘恭・草場 新之助・島崎昌彦・中尾誠司・星 典宏・長谷川 美典)(農研機構 近中四農研) 勝谷範敏(広島農技セ)	カンキツのマルチ・点滴かん水同時施肥システムの開発と普及 デルフィニウムの安定生産技術の開発と普及
平成22年	小林泰生・坂井康弘・谷川孝弘・山田明日香・松野孝敏・國武利浩・栗山拓郎(福岡県農業総合試験場 花き部) 小川正輝・石崎政彦・角田秀孝・山内 勸・中村義彦・竹本 昇・辻本雅宏・黒田喜佐雄・岩本和彦・故松本善守・小野良允・沢村泰則・大西豊・植田重孝(和歌山県および奈良県カキ「平核無」・「刀根早生」CTSD炭酸ガス脱渋法の実用化研究グループ)	トルゴギキョウ切り花の周年生産におけるコスト低減、品質向上および出荷期調節技術の開発 カキ「平核無」・「刀根早生」CTSD炭酸ガス脱渋法の実用化
平成23年	村田 治重・進士 和雄・山本章吾・渡邊 榮・水戸 喜平・末松 信彦・中村 新市・村上 寛・石井 ちか子・山本 宏道(静岡県農林技術研究所 伊豆農業研究センター)	南伊豆地域における早咲きザクラの探索、増殖、生態解明および観光利用への貢献
平成25年	小笠原 静彦(自営 農業(元 広島県立農業技術センター 果樹研究所))	ブドウにおけるストレプトマイシンの無核化作用の発見と利用
平成26年		
平成27年	本岡 竹司(茨城県農業総合センター 生物工学研究所)	フリージア冷蔵促成栽培における切り花の安定生産技術の開発と普及
平成28年	農研機構果樹研究所ブドウ育種グループ(山田昌彦・山根弘康・佐藤明彦・平川信之・岩波宏・吉永勝一・小澤俊治・三谷宣仁・白石美樹夫・吉岡美加乃・中島郁子・中野正明・中畠良二)	ブドウ新品種「シャインマスカット」の育成

年度	受賞者	テーマ
平成29年	稲葉 善太郎(静岡県東部農林事務所生産振興課)	マーガレットの育種と生産振興への貢献
	長野県果樹試験場リンゴ‘シナノスイート’、‘シナノゴールド’育成・栽培グループ(羽生田忠敬、小池洋男、臼田彰、小松宏光、玉井浩、前島勤、小川秀和)	リンゴ‘シナノスイート’と‘シナノゴールド’の育成および高品質安定生産技術の開発
平成30年	山形県農業総合研究センター園芸試験場 オウトウ‘紅秀峰’育成・栽培グループ(佐藤功、新野清、野口協一、山口正己、石黒亮、佐竹正行、西村幸一、須藤佐蔵、安孫子裕樹、近野広行、工藤信)	オウトウ‘紅秀峰’の育成及び高品質安定栽培技術の確立と普及
平成31年	果樹放射線対策技術開発グループ(永山宏一、安部充、佐藤守、阿部和博、湯田美菜子、瀧田克典、赤井広子、山口奈々子、額田光彦、佐久間宣昭、斎藤祐一、味戸裕幸、志村浩雄、桑名篤、小野勇治、岡田初彦、柳沼久美子、川口悦史、滝田雄基、関澤春仁、佐藤真理、丹治克男、相原隆志、高田大輔、草場新之助、松岡かおり、平岡潔志、堀井幸江、濱松潮香、八戸真弓)	原発事故に伴う果樹園の放射性セシウム汚染対策技術開発
令和2年	農研機構果樹茶業研究部門リンゴわい性台木JM7育成グループ(吉田 義雄、羽生田 忠敬、別所 英男、土屋 七郎、増田 哲男、小森 貞男、真田 哲朗、副島 淳一、伊藤 祐司、定盛 昌助、櫻村 芳)	バラ切り花栽培技術‘ハイラック仕立て法’の開発と普及
	農研機構果樹茶業研究部門リンゴわい性台木JM7育成グループ(吉田 義雄、羽生田 忠敬、別所 英男、土屋 七郎、増田 哲男、小森 貞男、真田 哲朗、副島 淳一、伊藤 祐司、定盛 昌助、櫻村 芳)	リンゴわい性台木JM7の育成
令和3年	果樹ジョイント栽培技術開発グループ(柴田 健一郎、関 達哉、小泉 和明、曾根田 友暁、廣 瀬 恭祐、北尾 一郎、小林 正伸、北見 丘、川嶋 幸喜、大井 芳裕、秋平淳也)	果樹のジョイント栽培の開発による早期成園化と省力化の実現
令和4年	ウンシュウミカンの浮皮軽減技術開発グループ(牧田好高、澤野郁夫、高橋哲也、山家一哲、生駒吉識、佐藤景子、松本 光、中嶋直子、中谷 章、山田 芳裕、秋平淳也)	ジベレリンとプロヒドロジャスモンの混合散布によるウンシュウミカンの浮皮軽減技術の開発と普及
令和5年	果樹根圏制御栽培研究グループ(栃木県)大谷義夫、金原啓一、岸祐子、須藤貴子、石下康仁、鷲尾一広、北原智史、榎渕康平)	果樹の盛土式根圏制御栽培法による早期・超多収技術の開発
令和7年	農研機構果樹茶業研究部門カンキツ研究領域カンキツ品種育成・生産グループ(根角博久、吉岡照高、國賀武、三谷宣仁、深町浩、今井篤、野中圭介、山本雅史、奥代直巳、高原利雄、山田 彬雄、吉田俊雄、松本亮司、伊藤祐司、野々村(中野)睦)	カンキツ‘清見’後代からの無核・少核性の優良品種の育成
	神奈川県農業技術センター スイートピー育種研究グループ(林勇、山元恭介、柳下良美、栢原知子、勝間田やよい)	スイートピー育種研究による都市近郊切り花産地振興
令和8年	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 果樹品種育成研究領域 落葉果樹品種育成グループ(壽和夫、齋藤寿広、町田裕、佐藤義彦、阿部和幸、栗原昭夫、緒方達志、寺井理治、西端豊英、小園照雄、福田博之、木原武士、鈴木勝征)	ニホンナシ‘あきづき’の育成